

AI(人工知能)があたりまえになる時代に向けて、ロボットのいまを体感しよう!! 「ドローン&ロボットシンポジウム」10月30日開催 親子で参加できるドローンワークショップと、ロボットの最前線を語るシンポジウム

株式会社角川アスキー総合研究所(本社:東京都文京区、代表取締役社長:角川 歴彦、以下角川アスキー総研)は、マジカル福島実行委員会が主催する、親子で参加できるドローンのワークショップとロボットに関するシンポジウム「マジカル福島イベント ドローン&ロボットシンポジウム」を、10月30日(日)に実施します。

11月3日より6日までの4日間、福島県全域で映画上映会やコスプレ撮影会など、日本最大規模の文化祭として、「マジカル福島2016」※1が開催されます(主催:マジカル福島実行委員会)。今回の「ドローン&ロボットシンポジウム」はそのイベントとして、イノベーション・コースト構想※2でも主題となっている「ドローン」と「ロボット」に焦点をあてて開催するもので、角川アスキー総研が運営いたします。

本イベントではまず第一部として、親子で参加できるドローンワークショップ「プログラミングで自動飛行 ～親子ドローン教室～」を実施。実際に動作をプログラミングすることによって、ドローンの自律飛行を体験できます。そして第二部となるシンポジウム「ロボットができること ～今とこれから～」では、メカニックデザイナー・アニメーション演出家の吉田徹氏や、東京大学先端科学技術研究センターの稲見昌彦教授らにご登壇いただき、災害支援・産業用ロボットの現状からロボットの未来までを、幅広く語っていただきます。

「マジカル福島イベント ドローン&ロボットシンポジウム」

日時:2016年10月30日(日) 10:00～15:50

会場:角川本社ビル 2Fホール(東京都千代田区富士見2-13-3)

■第一部(10:00～12:30)

「プログラミングで自動飛行 ～親子ドローン教室～」

プログラミング環境やドローンは運営側で用意しますので、手ぶらでご参加いただけます。プログラミングの知識は不要です。

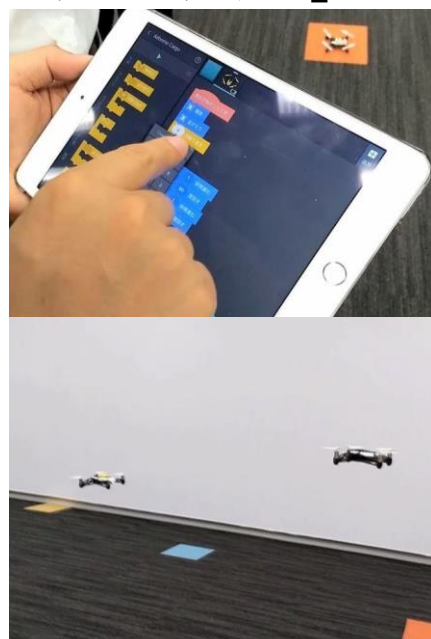
■第二部(13:30～15:50)

シンポジウム「ロボットができること ～今とこれから～」

パート1「災害支援、産業用ロボットについて」

パート2「ロボットの広がり、未来について」

最前線でロボットを開発しているクリエイターや研究者、ロボットアニメの制作者等、ロボットについて広く識見をお持ちの方々に、その今とこれからの話を語っていただきます。



報道関係のお問い合わせ

株式会社角川アスキー総合研究所 担当:阿見・有馬 mail: seminar@lab-kadokawa.com TEL:03-5840-7800

「マジカル福島プレイベント ドローン＆ロボットシンポジウム」開催概要

主催：マジカル福島実行委員会(事務局:株式会社福島ガイナックス)

企画：株式会社KADOKAWA、株式会社角川アスキー総合研究所、
株式会社ドワンゴ

日時：2016年10月30日(日) 10:00～15:50

会場：角川本社ビル 2Fホール(東京都千代田区富士見2-13-3)

参加費：無料

申込み：要事前申込み(Webにて受付)

※当日はイベントの様子をインターネットにて配信する予定が
ございます

イベント概要・タイムテーブル：



■10:00～12:30 【第一部】

「プログラミングで自動飛行 ～親子ドローン教室～」

小学校5、6年生から中学生の親子向けに、ドローンのプログラムワークショップを行います。事務局にてプログラミング用の端末とアプリ、ドローンを用意いたしますので、手ぶらでご参加いただけます。プログラミングの知識がなくても、実際にドローンをプログラムして、自律飛行を体験してみてください。

※必ず親子でお申し込みください

定員：6組(先着順)

お申し込みURL：<http://lab-kadokawa-event1.peatix.com>

■13:30～15:30 【第二部】

シンポジウム

「ロボットができること ～今とこれから～」

有識者、業界関係者を登壇者にお招きして、テーマに沿った様々な視点から、ロボットのあり方や活用、その今後について考えてみるシンポジウムです。



未来ロボット技術研究センター(fuRo)の遠隔作業ロボット「櫻式號」(写真左)と、脚と車輪の両方で移動が可能な「Halluc II」(写真右)。

13:30～14:30 パート1「災害支援、産業用ロボットについて」

登壇者：古田貴之 氏

千葉工業大学未来ロボット技術研究センター所長、ロボットクリエイター、工学博士

山川宏 氏

早稲田大学教授、早稲田大学次世代ロボット研究機構 機構長

浅尾芳宣 氏

株式会社福島ガイナックス代表取締役社長、プロデューサー・監督

吉田徹 氏

アニメーター、メカニックデザイナー、アニメ監督、アニメーション演出家

14:35～15:35 パート2「ロボットの広がり、未来について」

登壇者： 稲見昌彦 氏

東京大学先端科学技術研究センター教授、超人スポーツ協会共同代表

吉崎航 氏

アスラテック株式会社チーフロボットクリエイター

杉本真樹 氏

医師、医学博士、株式会社Mediaccel代表取締役、国際福祉大学大学院医療福祉学研究科准教授

15:35～15:50 マジカル福島直前PR

定員：70名(先着順)

お申し込みURL： <http://lab-kadokawa-event2.peatix.com>

以上

※1 「マジカル福島2016」

11月3日より6日までの4日間、マジカル福島実行委員会(事務局：株式会社福島ガイナックス)が開催する、福島県民主体の「日本一大きい文化祭」。福島県内各地で映画祭や音楽ライブ、アニメ制作体験ワークショップなどを実施し、福島からの文化発信を促進するとともに、県内のアニメに関連する場所をまとめた「聖地マップ」を作製するなど、新たな観光スポットの創出も目指す。

「マジカル福島2016」(<http://magicalfukushima.com/>)

※2 「イノベーション・コースト構想」

経済産業省・福島県を中心として進められている、福島県浜通り地域をロボットなどに関する世界最先端の国際研究都市とする構想。「福島県の復興・再生の推進力とするため、エネルギー、医療、ロボットなどの研究開発・産業創出拠点の整備」(ふくしま復興ステーションWebサイト)を進めており、すでに昨年10月にはロボットの検証施設「檜葉遠隔技術開発センター」の運用が一部開始されている。

「新産業/イノベーション・コースト構想」(<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/innovation.html>)